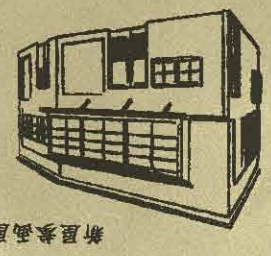
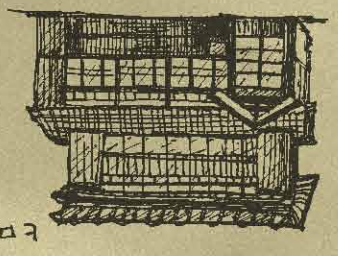
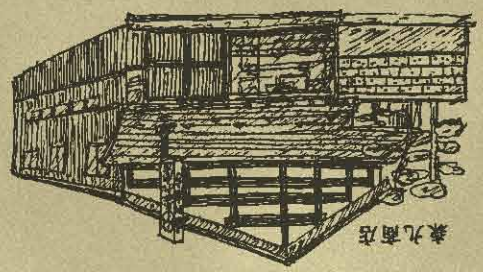
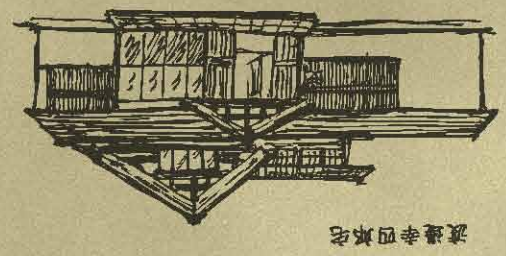


新屋地区は秋田市中心部の南西に位置し、
 良質で豊富な水に恵まれた地域で
 古くから酒造業など醸造の町として久保田城下の台所として栄えた所です。
 新屋表町通りには、今も数カ所の流れ井戸が点在しており、
 國萬歳酒造や森九商店など国登録有形文化財の町家も残っています。

あらやまっぶ

あらやまっぶまちどおり
新屋表町通り



歴史と湧水の郷、新屋

「あらやまっぶ」
 編集／新屋参画屋(あらやさんかくや)・・・新屋地区の皆様
 電話／〇一八八二八八五六一(参画屋)
 住所／〒〇一〇一六三八 秋田市新屋表町一〇一四(参画屋)
 発行／秋田市(都市整備部都市計画課)
 電話／〇一八八六六一二五二
 住所／〒〇一〇八五六〇 秋田市山王二丁目一―



じぞっことケロさだの新屋探訪記



ももさだ海洋のももさだガエル 通称:ケロさだ 新屋町を愛する物知り地蔵 通称:じぞっこ

日吉神社にて2010年春、新屋町恒例の年祝い・厄払い行事が行われた。80年以上前から行われている伝統行事で、合同の厄払い・年祝い祭を行うものでとても珍しいと言われている。年祝い・厄払いの翌日、還暦を迎えた「じぞっこ」と「ケロさだ」。ケロさだは長く見守った海岸の務めから、改めてこの土地を見直そうと、じぞっこの案内で新屋の探訪に出かけることとなり、日吉神社で待ち合わせをする事になった。

ケロさだ…早速行くケロ、歴史探検スタートだケロ！

じぞっこ…日吉神社

①は山王社といわれ、大同元年(806年)勝平山の麓に鎮座したと伝えられている。天長7年(830年)の大地震で社殿が崩落その後一本木(烏木町一本木・東北電力寮付近)に移り、永治元年(1141年)現在地に移ったと伝えられている。御祭神として大山昨大神(おおよまくいのかみ)をはじめ幾多の神々がある。ケロさだ…大山昨大神を祭神とするものが見られるのかなケロ。



日吉神社

じぞっこ…日吉(日枝)山王信仰の祭神大山昨大神は、比叡山(日枝山)に宿る山の神で比叡山の周辺の人々が信仰する素朴な山の神だったんだ。境内にある猿の石像は、もともと猿が神の使いだったことを現しているんだ。又、大山昨大神が松屋(まつのお)大社の祭神で山麓一帯の人たちの生活の守護神として崇められ、御田植祭という虫除けと五穀豊穡を祈る神様なんだ。又酒造の神様としても知られているんだ。

ケロさだ…醸造業の残っている新屋にはとても意味深いことを納得したケロ。じぞっこ…日吉神社ではまだまだたくさんのお話をしたいんだが、この周辺の探訪をしようか。ケロさだ…神社の周囲には、黒松の原木が道なりに並んでいるのは昔のままでとても懐かしいケロ。じぞっこ…新屋消防署真向かいが秋田の三大農政と言われた森川源三郎翁の生家②で、藩士として派遣されたんだが、とても優れた農業指導者であり産業の振興にもとても功績があったんだ。理念として有名な「三心」と言う言葉は、発心・決心・相続心を意味し現代人のわれわれにとっても大切な言葉だと感じるよ。森川翁が晩年上北三二見山で勉学に励んだ建物が西側に保存されているよ。余業庵③といわれ秋田市指定文化財

かに「シヨシヨシヨ鹿嶋のオグリシヨシヨシヨ寺のカゲマデオグリマデシヨ」と歌われ寺の陰とはこの天龍寺の事なんだ。表町通りに戻ろうか。渡幸(わたこう)④って知ってるか。ケロさだ…造り酒屋で銘柄は、確か勝平だったケロか。じぞっこ…つい最近までは、秋田で酒と言えば日本酒が定番だったよな、わたしはこの近隣の生まれで子供のころは渡幸が遊び場だった。大きなドラム缶がたくさんあって注ぎ口の隣になぜか黒砂糖が溜まっていたんだ。もちろん指で掬い舐めたもんだよ。随分後になって分かったんだが黒砂糖は日新と言う焼酎の醸造に使われ、アルコールの発酵促進材料みたいなんだ。ケロさだ…今では秋田酒造⑤・国萬歳酒造⑥だけになってしまったよ。散歩再開。出て直ぐ黄金井酒造⑦、今は無いが、隣りがうどん屋右手の小路には新屋由一の料亭稲荷⑧があった。郵便局・秋田銀行を過ぎ右手に大長の蔵が見えるだろう。新屋には地主がいて、農地改革以前は多くの田んぼ・小作人を抱え、数千俵と言う米が出来秋には蔵に納められたという。この蔵もその内のひとつなんだ。左手に有った西部公民館⑨は新屋駅近くに複合施設として移転しているんだ。空き地となっているが、もともと日新小学校はこの場所にあったんだ。その後秋田市役所新屋支所が、そして西部公民館という訳なんだ。君も支所があったのは知っているね。ケロさだ…思い出したケロ。



渡幸酒四郎宅

じぞっこ…この先左手の小路に、造り酒造屋寶生酒屋が有った所、先を急ごうか。だからした坂を登り、頂上の左手の小路に見える松林が栗田神社⑩、栗田定之丞を祀っているんだ。防砂林を作ったのはみんなが知っている話だろう。300万本と言われる松を植林す

となっているんだ。ケロさだ…まだオタマジャクシのころにそれとなく聞いたことがあったけど、戊辰戦争の関わりについて何か残っているケロか。

じぞっこ…それがとても大有りなんだ。官軍墓地は国道7号南バイパスの整備で、移転されたんだ。その場所に向かうことしよう。じぞっこ…この階段を下りると葉隠れ墓苑④だよ。ケロさだ…とても眺めのいいところで昔、眼下に東北パルプの工場が見えた記憶があるケロ。



葉隠れ墓苑

じぞっこ…こじんまりとした場所なんだけど、よく整備されているだろう。奥に見えるおむすび形の石碑(烏海石)には、戊辰戦争で亡くなった佐賀県武雄・鍋島藩士54名の名前と鍋島藩士の武士の心構えを記した「四誓願(碑文)」が彫られているんだ。そして手前の三基のお墓が戊辰戦争で亡くなった。馬渡栄助・兵蔵・兵助を弔ったものなんだ。ケロさだ…これが三本木にあった官軍墓と言う訳だなケロ。戊辰戦争についても少し教えてケロ。じぞっこ…戊辰戦争について話してしまうと力が入ってしまうんだ。ちよっと立ち話ではなんだから実相寺に降りて、昔の三角屋下駄屋の後に地域の交流の場が出来ているんだ。新屋参画屋⑤って言うんだ。コーヒーでも飲みながら、この後の散策を考えようか。ケロさだ…レトロな感じで落ち着くケロ。じぞっこ…ところで戊辰戦争は日本最後の内戦と言われ、鳥羽伏見の戦いに端を発し、函館五稜郭での戦いで終結したのを知っているだろう。ケロさだ…五稜郭や奥羽列藩同盟というのも学校で習った記憶があるケロ。

じぞっこ…久保田藩は、奥羽列藩同盟を脱退し官軍(朝廷側)に付いた為、領士の2/3が戦場となったんだ。るにあたり定之丞は多くの住民の協力を得なければならなかった。藩の財政も苦しく、住民をただ同然で協力を願い、しかも、嫌がる住民を説得しなければならなかった。お願いするよすが子供が駄々をこねるように見えた事から、ダダノジョウ、と言われるほどだった。定之丞の人並みはずれた熱意が飛砂から秋田を守ったのである。残念なことには、松くい虫による松枯れが広がり、再生のための植林が開始されているんだ。ケロさだ…そうケロか。



栗田神社

じぞっこ…いよいよ雄物川⑦の土手だな。そうだ、日本奥地紀行で有名なイザベラバードが明治十一年神宮寺から船で到着したのも三七の渡りで、そこから旭川に遡って久保田の町に入った。イザベラバードの紀行文は明治の蝦夷を知るには一読の価値があるかも。いまは、目の前、対岸に工事中の水門が見えるだろう。あれが旧雄物川が流れていたところなんだ。それから左手の方向は高さ30メートルの砂丘が続いており、向こう浜までは地続となっていた。さて、昔、毒水と言われた工場排水路。今は大川帯状公園⑬と言うんだ。全長は確か1.1キロで川の誕生(源泉)から海に注ぐまでを表現しているものなんだ。完成したことによって桜の名所に花を添えている。西中グラウンド南の新屋桜橋から上流は埋め立てられ近隣公園として、花見から秋の鍋つこまで多くの人



大川帯状公園

北は盛岡藩に攻められ連戦連敗・二ツ井まで攻め込まれる事態だったんだ。南は仙台藩・庄内藩(鶴岡藩)に攻められやはり連戦連敗の有様で久保田城下に攻め込まれるのも時間の問題だった。そこで官軍に援軍を求め、九州各藩と長州・戦争末期の津軽藩・新庄藩を加えると総数9,000名近くとなった。そのなかで九州佐賀武雄の鍋島藩と新屋はとても深い繋がりがあるんだ。援軍の名藩はそれぞれ県内の戦地に出向き戦闘に参加された。鍋島藩は持ち場として新屋に本陣を置くことになった。本陣は元の高多茂壽油店の所で、そのころは造り酒屋(大門助衛門)で武雄要人の作戦本部となり・又、兵の詰め所としては忠専寺(佐竹義脩(よしなお)の(新屋本陣))が使われたんだ。戊辰戦争関連の史跡はこれから探訪する忠専寺や天龍寺にも有るんだ。そろそろ出かけようか。そうこの先の愛宕の地蔵⑥も見てみようか。ケロさだ…あれ、子供のころの建物とずいぶん違うケロ。じぞっこ…今は愛宕町内の会館となった。愛宕地蔵は別名汗かき地蔵とも言われ天変地異がある時は汗をかいて知らせたとの言い伝えがあり信仰を集めていたんだ。来た道を引き返してみよう。ケロさだ…愛宕の湧水を手酌で飲んだことがあるケロ。じぞっこ…そうだな、わたしの子供時代飲み物は水だったな。駄菓子屋でも桶樽に水を入れラムネを売っていた時代だから。オット、あまり当時は語ると世俗な地蔵で言われそうだから。参画屋の裏通り関町から実相寺⑦の前をとおる忠専寺⑧に向かおう。ケロさだ…昔の面影がほとんど残っている通りだケロ。じぞっこ…もうすぐ忠専寺、その真向かいの家が塩魚汁で有名な佐藤佐七商店⑨。秋田の郷土料理で塩魚汁といえぱきりたんぼと並んで知名度が抜群だからな。さて、左手が忠専寺。山門をくぐり正面に見えるのが本



愛宕町地蔵堂/集会場

が集う緑の広場となっているんだ。ケロさだ…新屋も小学校・中学校はもちろん高校・美短と揃って学園街の雰囲気があるケロ。じぞっこ…美短も新設され、旧国立倉庫は美短の研修棟となり、一部はアトリエももさだ⑩で市民開放施設としても活用されている。市民教室に開放したり学校と住民の垣根を低くする努力が続けられているんだ。学校の地域参加、新屋参画屋で大学の持っている専門性・生徒の若い人の提言・地元の人材が協力しよりよい街づくりを考えているところなんだ。ケロさだ…新屋町は、まだまだ知らない歴史がたくさんあるケロ、もつこの町を知りたくなったケロ。じぞっこ…今回は、戊辰戦争がらみで、近隣の史跡などを案内するでしょう。



旧国立倉庫(アトリエももさだ)

とっぴんぱらりのふう



殿。向拝から階段を上り手前の廊下には戊辰戦争のとき藩士たちが銃の手入れをした、銃口や鉄砲の台尻の後が残されているんだ。ケロさだ…何か当時の藩士の作業姿が目に見えるケロ。じぞっこ…この本殿の真後ろに佐賀藩士御厨源三郎・大古場佐吉・齋藤八左衛門の三基のお墓があるんだ。ケロさだ…幕末から明治にかけての時代変化は日本にとって劇的な変遷と言えるケロ。じぞっこ…とにかく偉かった。まあ、そんな訳で久保田藩にとって、いや新屋にとって、我々がこうして存在していることすら援軍のお陰と言っても過言ではない気がする。もうひとつ、戊辰がらみで天龍寺⑩を訪ねようケロさだ…戊辰戦争関係の資料がとても多く残されており大切にしたいケロ。貴重な財産だケロ。じぞっこ…天龍寺の山門をくぐり、左手には、昔話の傘地蔵を思わせる地蔵堂の脇に樋口泉兵衛氏の墓がある。戊辰戦争における佐賀藩士最初の死者で8月5日平沢の戦いで深手を負い戦死。先鋒隊目付兼伍長であった。秋田に来る前に神戸で撮った写真が残されている。ところで、鹿嶋まつりは子供のころ楽しみだったろう。ケロさだ…日吉神社まで馬車船を引いてお参りをし、町内に帰るとご褒美のお菓子を貰った記憶があるケロ。じぞっこ…歌を歌いながら引いたと思うが、歌詞のな



天龍寺